



巻頭言

ケース・カンファレンスの 効用と限界

まめの木クリニック
生地 新

臨床心理学の世界でケース・カンファレンスという場は、心理療法の技術を学ぶために大切な場と考えられてきました。その場合のケース（事例）という言葉は、心理的問題や精神疾患を持つ人（クライアントあるいは患者）、あるいは、その人への介入のプロセス全体を意味しているのだと思います。児童福祉施設へのコンサルテーションをしていて、気がついたのですが、福祉領域では、ケースが「ある事件」（出来事）を指す言葉として使われることもあるようです。「A君が性的逸脱行動のケースを起こした」というように使います。話を戻しますが、私が心理療法（精神療法）を学び始めた頃は、本や論文を読み、セミナーや学会に参加することに加えて、ケース・カンファレンスに出席し、時々自分が担当しているケースを報告することが非常に重視されていました。今日、ある心理療法の専門家になるためには、セミナーやケース・カンファレンスの他に、個人スーパービジョンを受けたり、自分がその心理療法を受ける体験をしたりすることが求められるようになりました。それに伴って、ケース・カンファレンスは、心理療法を学ぶ過程において重要度が下がった気がします。しかし、複数の専門家が集い、あるケースの心理療法のプロセスをじっくり聞き、指導者や参加者が多様な視点から、そのケースについて意見を述べ、今後の介入のあり方について議論するという体験は、貴重なものです。そして、その場は仲間作りの場にもなります。

話は変わりますが、昔のケース・カンファレンスでは、厳しく批判されたり、怒られたりすることが多く、ケース報告者が傷つくという問題がありました。精神分析の世界では、その傾向が強かったかもしれません。今日では、そういうことがだいぶ減ったと思います。このことは、叱るより褒めようという教育の方向性の変化や、体罰やハラスメントを許さないように社会的価値観の変化と関連していると思います。ただ、私もカンファレンスの助言者をしていて、いらっとすることがあります。最近、よく聞く言葉で、私にとっての地雷ワードは、「発達特性」「認知の歪み」「試し行動」などの言葉です。これらはすでに一定の領域では「業界用語」になっていて、無反省に使われています。いらっとした時は、私がそれらの言葉がなぜ嫌いなのかを説明して、自分の気持ちが穏やかになるのを待ちます。心理職の皆さんには言葉についての感覚を磨くことをお願いしたいと思います。

目次

[公開スーパービジョン
のご報告](#) -2

[公開スーパービジョン
の感想](#) /
[特別講演会のご案内](#) -3

[相談員募集のご案内](#) -4

設立16周年企画 生地新先生 公開スーパーヴィジョンのご報告

こだち設立16周年の記念企画として、2022年10月23日(日)に生地 新先生（まめの木クリニック院長・北里大学名誉教授）をお招きして、公開スーパービジョンを開催いたしました。51名の方がご参加くださり、参加後のアンケートからは大変満足度の高い研修会であったことが窺えました。

研修会の最初に、黒木理事長から生地先生のご経歴を紹介した際に、先生の人柄や専門性について「抱える」というキーワードが用いられ、その後のあたたかい検討を予見するようでした。事例のご発表は「性の違和感を訴える高校生との面接過程」というタイトルで、クライアントの様子や、セラピストが丁寧に関わり、クライアントとセラピストの関係について真摯に向き合っていることが伝わるものでした。生地先生は、家族の背景を想像し関わること、〇〇な症状の人ではなくさまざまな側面を持った人として多面的に見立てることについてお話しされ、精神分析の視点に加えて、立場を超えたクライアントを理解するためのエッセンスについてご教授いただきました。

先生が発表者に質問されたり、その意図を解説されたりする際に、その内容のわかりやすさだけでなく響きやすい話し方をなさっていたのが印象的でした。検討は大変あたたかく場全体が抱えられているようであり、先生の臨床を垣間見ることができたような時間でした。この事例検討の雰囲気は、対面での検討特有のものではないかと思われました。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、対面での研修会の企画は予測が立てづらい中ではありますが、心理臨床家の研修として公開スーパービジョンを対面で開催することは重要なことであると改めて思いました。

発表者、参加者にとって安心して深く学びを得ることができた研修会でした。生地先生、事例発表の先生、参加者の皆様に心より感謝いたします。



事例発表の先生のご感想

公開SVのお話を頂いた時から当日まで、どんなことを言われるんだろう、私のしていることを理解してもらえるかな、などと不安な気持ちでいっぱいでしたが、実際SVが始まってしまうと、余計なことは考えずに、目の前のケースや自分自身と向き合うことが出来ました。生地先生の醸し出される雰囲気や、お言葉のひとつひとつによって、私はそのような気持ちでいることができたのだと思います。クライアントさんも、私が公開SV前まで抱いていたような不安や心配の気持ちを抱えて、毎回来談されているかもしれません。私も、生地先生のように、クライアントさんが安心して自分と向き合う空間、時間を提供できるよう、日々の臨床を頑張っていきます。



公開SV参加者の皆様のご感想

Cl.に寄り添うセッションの雰囲気が感じられる事例発表と、生地先生の優しくて包み込むようなSVで安心しました。ありがとうございました。

久々にひとつのケースをじっくり見ていて、日々追われる仕事の中、もう一度、ひとつひとつのケースを丁寧にとの意識を再認識させられました。

Th.の先生の丁寧で細やかなご対応で、Cl.さんが振り返ったり、先に進めたりしていることが窺えました。

さらに、生地先生の心理アセスメントの話から、この事例の様子が頭の中で描かれ、とても学ぶことがたくさんありました。これからも学びを続けていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

事例提供では、細かくまとめてあり、クライアントさんの心の動きがわかりました。そして、率直に、今の気持ちや考えを話しておられて、好感的で、学びになりました。

生地先生の洞察やアドバイスで、さらにクライアントさんの心模様がイメージでき、よかったです。

生地先生のあたたかくも深いお話を日々の自分の臨床に思いを馳せながら聞かせていただきました。Th.の先生のCl.さんへの丁寧な面接・関係性を作っていく様子など自分もまた頑張ろうと思いました。

セッション中Cl.さんが自分の課題を出せたり解決できたり、いろいろなことが起きて展開していく様子や、Th.の先生のそれを促進させる受容的な関わり方を生き生きとした形で見せていただけてとても勉強になりました。

特別講演会のご案内

各種研修会情報
～随時更新中～



本年度のこだちの特別講演会では、日本におけるパーソンセンタードアプローチ(PCA)の第一人者である村山正治先生(九州大学名誉教授・東亜大学客員教授・臨床心理士)をお招きします。

大変貴重な機会ですので、皆様お誘い合わせの上是非ご参加ください。

村山正治先生 特別講演会

私の臨床家になるプロセス

～自分自身になること・変化すること～

日 時：2023年5月21日(日) 13:00～15:30

開催形式：会場・Zoomウェビナーによる同時開催

定 員：会場 70名 / Zoom 200名

参加費：正会員・賛助会員2,000円

学生会員1,200円 / 非会員3,500円

詳細はこちら▶



相談員募集のご案内

こだちでは、相談受付の増加にともない、一緒に働いてくださる登録相談員を募集しております。ご関心がございましたら、まずはこだち事務局 (jimukyoku@codachi.org) までご一報ください。

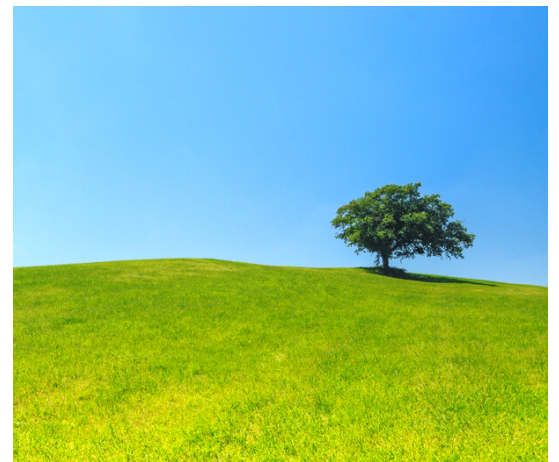
- 【業務内容】主に来談者へのカウンセリング
- 【必要資格】臨床心理士資格を有する人、当法人の正会員であること
- 【勤務時間】月曜日～土曜日の10:00～18:00の間で都合のつく曜日・時間帯。
- 【勤務場所】九州大学こころとそだちの相談室
(福岡市早良区西新2-16-23 九州大学西新プラザ内 産学交流棟)



入会のご案内

こだちは今年で16年目を迎えます。地域に定着した心理臨床サービスを継続するには、収支の安定が求められます。NPO法人の会員となって、私たちの活動を支えていただけると幸いです。会員になっていただける方はぜひ、こだちまでご連絡ください。なお、会費は1年毎の更新制です。よろしくお願いたします。

- 会員(ひと口5,000円)：臨床心理士・公認心理師(予定)・医師
その他対人援助に関わる方(定款参照)
- 学生会員(ひと口1,000円)：学部生・大学院修士課程
- 賛助会員(個人：ひと口5,000円・団体：ひと口10,000円)



ご支援のお願い

当NPO法人では、会員以外の方からも、ご寄付をお待ちしております。関心や興味を持たれた方は、ぜひご連絡ください。

交通のご案内



〒814-0002
福岡市早良区西新2-16-23
九州大学西新プラザ 産学交流棟

TEL / 092-832-1345
FAX / 092-832-1346

地下鉄でお越しの方
福岡市営地下鉄空港線 西新駅下車後
7番出口より徒歩にて約10分

バスでお越しの方
西鉄バス「西新一丁目」または「今川橋」下車後
徒歩にて約10分

FOR MORE INFORMATION
最新情報配信中



九州大学 こだち

